

又道路も、街路事業で実施していき、路線は、ほぼ用地買収も完了に近づき、一部工事を実施していることから、供用開始に一步近づいたと考えています。ほかにも、二州第一保育園や二州第二保育園の園舎の建て替え、また朝陽児童クラブをはじめ、交進児童クラブ、二州児童クラブの設置、あるいは南中学校武道館建設等、福祉や教育施設の整備にも、力を注いできました。

このように、私が掲げた健康・安全・活力ある八街市を築くため、この4年間、八街市総合計画に基づき努力してきたところであり、今後とも引き続き健全財政を堅持しながら八街市の将来都市像「ひと・まち・みどり」が輝く「ヒューマンフィールド」や「また」を目指し努力します。

雨水対策

問 市内に冠水する恐れがある箇所は、どのくらいあるのか。また、その対策はどうか伺う。

市長 市内の冠水は、総降雨量や1時間当たりの降雨量により、冠水の発生状況が異なります。また、近年



ため、容易に解消することができないのが現状です。これまでの事業としては、永年にわたり流末排水の整備を進めているほか、学校の校庭を利用した雨水の貯留浸透施設整備や洪水調整池として、大池調整池建設などの事業を進めているところです。今後も冠水被害解消に向けて、鋭意努力していきたいと思えます。

駅周辺整備

の降雨状況は、集中的な豪雨が多く見受けられます。特に、平成16年10月の台風22号の総降雨量は、約200ミリメートル、時間最大降雨量は30ミリメートルで、冠水箇所は34カ所でした。また、10日後の台風23号の総降雨量は、約130ミリメートル、時間最大降雨量は20ミリメートルで、冠水箇所は25カ所でした。

これらの対策は、常設自動排水ポンプのほか、臨時でのポンプ排水、土嚢積み、通行止め等の看板設置、交通整理などを実施しています。慢性的に冠水となる箇所は、抜本的な工事を実施しなければなりません。流末の確保や、その整備を考慮した計画が必要となる

ため、容易に解消することができないのが現状です。これまでの事業としては、永年にわたり流末排水の整備を進めているほか、学校の校庭を利用した雨水の貯留浸透施設整備や洪水調整池として、大池調整池建設などの事業を進めているところです。今後も冠水被害解消に向けて、鋭意努力していきたいと思えます。



芝のまきは公園から見た八街駅

問 八街駅北側地区土地区画整理事業の進捗状況について伺う。

市長 区画整理事業の進捗状況は、事業費ベースで、平成17年度末では約70%、平成18年度末には約76%となる見込みであり、現在、早期完成に向けて鋭意努力しているところです。

今年度の主な整備内容は、北口駅前広場東側に自転車駐車場の整備と1号街区公園の整備を行う予定です。

問 榎戸駅周辺の整備状況について伺う。

市長 現在、榎戸駅周辺には、泉台、みどり台の民間開発による大規模住宅団地があり、その周辺には一戸建て住宅やアパートが建設されています。

また、榎戸駅西側の主要地方道成東酒々井線沿いには、佐倉警察署榎戸交番や郵便局、食料品のスーパーや日用雑貨店などの商店もできており、徐々に市街化が形成されているところであります。榎戸駅を中心とした駅周辺部は、市の総合計画において都市副次核としてふさわしい快適な生活空間の形成を図る区域として位置づけています。

市としては、民間主導による取り組みを適切に働きかけるとともに、各種整備手法を考慮に入れ、幹線道路と周辺宅地の利用増進など、一体的な市街地の形成を図るよう検討したいと考えています。

教育問題

問 道徳教育を含めて「命」について、子供達にどのような教育を行っているのか伺う。

教育長 八街市の学校では、特色ある教育活動の中で、「生きる力」を育てること、「命」を大きなねらいとしています。その中に「人権尊重の教育を推進し、生命を大切にする教育の充実」を掲げ、すべての教育活動において取り組んでいるところです。

具体的には、学校人権教育の充実、命を大切にするキャンペーンの推進、いじめに対する教育相談の充実、心のノートの活用などを行っています。これらの取り組みを道徳の時間だけではなく、各教科、特別活動など、すべての教育活動の中で行っていくことで、かけがえない命の大切さをより一層学ばせていきます。

問 「命」及び「虐待」等について親に対してどのような手立てをとっているのか伺う。

教育長 児童・生徒の健全な成長、健全育成は保護者や教師の共通の願いであります。学校ではかけがえない「命」の大切さをさまざまな場面で児童・生徒



市立八街中央中学校

に指導しています。保護者に対しては、授業参観・保護者会・広報活動、特に学校・学年だよりなどを通じて、保護者の意識を高め、啓発や協力を推進していきます。

虐待の防止は、関係各課の協力のもと、専門機関と連携しながら、保護者に対して理解を深める努力をしていきます。

問 青少年のための市主催によるイベントの企画としてはどうか。

教育長 青少年を健全に育成することが重要であると認識しています。こうした中、教育委員会では、青少年を対象とした各種イベントを展開し、青少年の健全育成に努めているところです。具体的には、